



JFE

JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2025年11月6日

JFEホールディングス株式会社

証券コード : 5411

1. 業績ハイライト
2. JFEグループ 2025年度 上期決算・業績見通し
3. 事業会社別 2025年度 業績見通し
4. 配当について
5. トピックス

参考資料① 財務関連データ・損益分析他

参考資料② 事業環境指標他

参考資料③ 発行資料（リンク集）

本資料は当社の2025年度上期の業績の状況について一般に公表するために作成された資料であり、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、日本国、米国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

- **中国の過剰生産、大量輸出による需給バランスの崩れ、市況の低迷**は世界各国・地域に波及しており、当社グループにおいても、**国内外のスプレッド縮小、海外事業環境の悪化**を見込む
- **米国をはじめとする各国の保護主義的な政策に伴う影響**は、足元の販売状況や通商環境の変化を踏まえ、**数量減リスクの縮小**を見込む
(単独粗鋼生産量2,150万t程度 (対前回公表+50万t))
- 8次中期経営計画で織り込んだ、コスト削減や高付加価値品比率向上等の収益改善は着実に実行。引き続き、企業価値の持続的な向上に向けて、資本コストや株価を意識した経営を推進
- **年間見通しは、事業利益、セグメント利益、当期利益ともに前回公表通り**を見込む
※棚卸資産評価差等を除く事業利益は、1,900億円 (対前回公表▲100億円)
- **年間配当は、8次中期経営計画方針通り80円**を見込む

2025年度 上期決算	事業利益 ※棚卸資産評価差等除き	457億円 [937億円]
	セグメント利益 ※棚卸資産評価差等除き	341億円 [821億円]

2025年度 見通し <div> 単独粗鋼生産量 2,150万t 程度 為替 148円/\$ 程度 (下期150円/\$ 程度) </div>	事業利益 ※棚卸資産評価差等除き	1,400億円 [1,900億円]
	セグメント利益 ※棚卸資産評価差等除き	1,100億円 [1,600億円]
	当期利益	750億円
	年間配当	80円 (中間配当40円)

対前年同期	対前回公表
▲361億円 [▲411億円]	57億円 [7億円]
▲379億円 [▲429億円]	91億円 [41億円]
対前年度	対前回公表
47億円 [▲463億円]	±0億円 [▲100億円]
▲45億円 [▲555億円]	±0億円 [▲100億円]
▲168億円	±0億円
▲20円	前回公表通り

JFEグループ 2025年度 上期決算

- 上期事業利益は457億円（対前年同期▲361億円、対前回公表+57億円）
※棚卸資産評価差等除き 937億円（対前年同期▲411億円、対前回公表+7億円）

(億円)	2024年度 上期実績	2025年度 上期見通し (前回)	2025年度 上期実績	増減 (対前年同期)	増減 (対前回公表)
売上収益	24,507	23,300	22,326	▲2,181	▲974
事業利益	818	400	457	▲361	57
※棚卸資産評価差等除き	[1,348]	[930]	[937]	[▲411]	[7]
金融損益	▲98	▲150	▲115	▲17	35
セグメント利益	720	250	341	▲379	91
※棚卸資産評価差等除き	[1,250]	[780]	[821]	[▲429]	[41]
個別開示項目	▲121	0	0	121	0
税引前利益	599	250	341	▲258	91
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲174	▲100	▲74	100	26
当期利益	424	150	266	▲158	116

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

2025年度 上期決算 セグメント別



(億円)		2024年度 上期実績	2025年度 上期見通し (前回)	2025年度 上期実績	増減 (対前年同期)	増減 (対前回公表)	増減内容 (対前回公表)
	鉄鋼事業	17,293	15,400	15,374	▲1,919	▲26	
	エンジニアリング事業	2,695	2,750	2,870	175	120	
	商社事業	7,155	7,500	6,475	▲680	▲1,025	鋼材市況の下落 等
	調整額	▲2,635	▲2,350	▲2,394	241	▲44	
売上収益 計		24,507	23,300	22,326	▲2,181	▲974	
事業利益 (A) ※棚卸資産評価差等除き		818 [1,348]	400 [930]	457 [937]	▲361 [▲411]	57 [7]	
金融損益 (B)		▲98	▲150	▲115	▲17	35	
	鉄鋼事業 ※棚卸資産評価差等除き	345 [875]	▲150 [380]	▲53 [427]	▲398 [▲448]	97 [47]	P8参照
	エンジニアリング事業	89	90	126	37	36	売上収益増 等
	商社事業	224	250	219	▲5	▲31	売上収益減 等
	調整額	62	60	48	▲14	▲12	
セグメント利益 計 (A) + (B) ※棚卸資産評価差等除き		720 [1,250]	250 [780]	341 [821]	▲379 [▲429]	91 [41]	

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの



	単位	2025年度 上期（前回）	2025年度 上期実績
単独 粗鋼生産量	万t	1,070程度	1,080
単独 出荷量	万t	950程度	953
鋼材 平均価格	千円/t	120程度	119.8
為替レート	円/ドル	145程度	146.2

	(億円)	2025年度 上期（前回）	2025年度 上期実績	増減
セグメント利益		▲150	▲53	+97
* 棚卸資産評価差等除き		380	427	+47

内訳

①コスト	±0	
②数量・構成	+20	・ 粗鋼 1,070万t程度→1,080万t
③スプレッド*	±0	
④棚卸資産評価差等	+50	・ 棚卸資産評価差 +20 (▲440→▲420) ・ キャリーオーバー影響 +10 (▲ 40→▲ 30) ・ 為替換算差 +20 (▲ 50→▲ 30)
⑤その他	+27	・ Gr会社 +20 ・ その他 + 7

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド



	単位	2024年度 上期	2025年度 上期
単独 粗鋼生産量	万t	1,103	1,080
単独 出荷量	万t	966	953
鋼材 平均価格	千円/t	135.2	119.8
為替レート	円/ドル	153.9	146.2

	(億円)	2024年度 上期	2025年度 上期	増減
セグメント利益		345	▲53	▲398
* 棚卸資産評価差等除き		875	427	▲448

内訳

①コスト	+90	・ 操業改善他
②数量・構成	▲50	・ 粗鋼 1,103万t→1,080万t
③スプレッド*	▲280	・ 円高による輸出採算悪化 ・ 原料物価変動の販価反映時期差（マイナス影響）
④棚卸資産評価差等	+50	・ 棚卸資産評価差 ▲390 (▲ 30→▲420) ・ キャリーオーバー影響 +400 (▲430→▲ 30) ・ 為替換算差 + 40 (▲ 70→▲ 30)
⑤その他	▲208	・ Gr会社 +100 ・ その他 ▲308（償却費、金利、工事時期差 等）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

JFEグループ 2025年度 業績見通し

- 事業利益・当期利益共に前回公表通りを見込む。

※棚卸資産評価差等除きの事業利益は1,900億円（対前回公表▲100億円）

(億円)	2024年度 実績		2025年度 見通し(前回)		2025年度 見通し(今回)		増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
	上期	年間	上期	年間	上期 (実績)	年間	年間	年間
売上収益	24,507	48,596	23,300	47,500	22,326	46,000	▲2,596	▲1,500
事業利益	818	1,353	400	1,400	457	1,400	47	0
※棚卸資産評価差等除き	[1,348]	[2,363]	[930]	[2,000]	[937]	[1,900]	[▲463]	[▲100]
金融損益	▲98	▲207	▲150	▲300	▲115	▲300	▲93	0
セグメント利益	720	1,145	250	1,100	341	1,100	▲45	0
※棚卸資産評価差等除き	[1,250]	[2,155]	[780]	[1,700]	[821]	[1,600]	[▲555]	[▲100]
個別開示項目	▲121	297	0	0	0	0	▲297	0
税引前利益	599	1,443	250	1,100	341	1,100	▲343	0
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲174	▲524	▲100	▲350	▲74	▲350	174	0
当期利益	424	918	150	750	266	750	▲168	0

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

2025年度 業績見通し セグメント別



(億円)		2024年度 実績		2025年度 見通し(前回)		2025年度 見通し(今回)		増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
		上期	年間	上期	年間	上期 (実績)	年間	年間	年間
	鉄鋼事業	17,293	33,651	15,400	30,700	15,374	30,800	▲2,851	100
	エンジニアリング事業	2,695	5,698	2,750	6,000	2,870	6,000	302	0
	商社事業	7,155	14,385	7,500	15,000	6,475	13,500	▲885	▲1,500
	調整額	▲2,635	▲5,139	▲2,350	▲4,200	▲2,394	▲4,300	839	▲100
売上収益 計		24,507	48,596	23,300	47,500	22,326	46,000	▲2,596	▲1,500
事業利益 (A)		818	1,353	400	1,400	457	1,400	47	0
※棚卸資産評価差等除き		[1,348]	[2,363]	[930]	[2,000]	[937]	[1,900]	[▲463]	[▲100]
金融損益 (B)		▲98	▲207	▲150	▲300	▲115	▲300	▲93	0
	鉄鋼事業	345	363	▲150	400	▲53	400	37	0
	※棚卸資産評価差等除き	[875]	[1,373]	[380]	[1,000]	[427]	[900]	[▲473]	[▲100]
	エンジニアリング事業	89	193	90	200	126	200	7	0
	商社事業	224	479	250	500	219	450	▲29	▲50
	調整額	62	108	60	0	48	50	▲58	50
セグメント利益 計 (A) + (B)		720	1,145	250	1,100	341	1,100	▲45	0
※棚卸資産評価差等除き		[1,250]	[2,155]	[780]	[1,700]	[821]	[1,600]	[▲555]	[▲100]

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

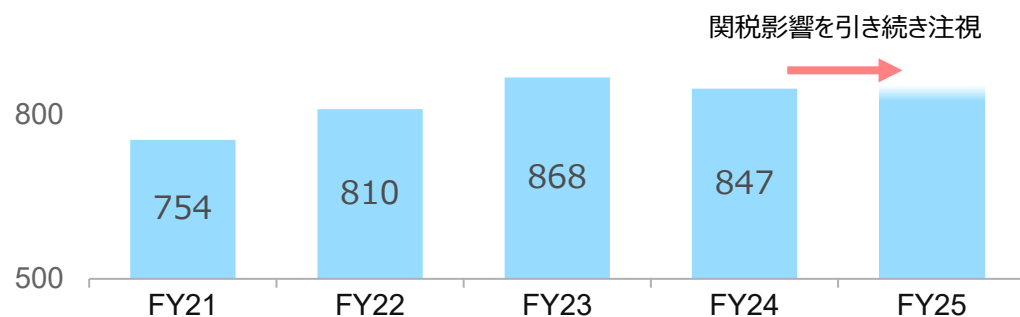
セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

JFEスチール 2025年度 業績見通し

- 製造業向けは、特に自動車・建産機分野にて、米国関税の及ぼす影響について引き続き注視
- 建設分野は、**建設コスト上昇・人手不足の影響を背景に低迷が継続**

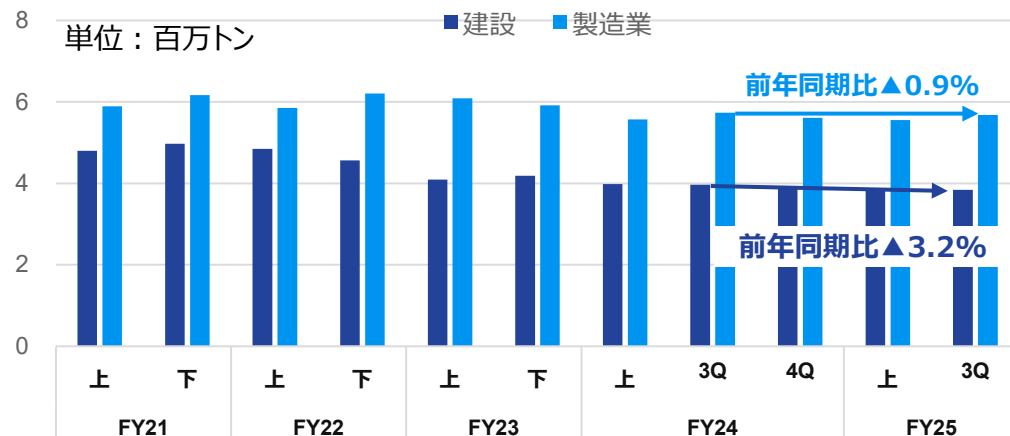
自動車生産台数見通し/年

単位：万台



国内普通鋼 鋼材消費見通し/Q

単位：百万トン



出典：経産省 10月16日発表 244Q以降は推定

分野別動向

自動車

- 自動車関税並びに、他政策含めた先行き不透明感による**購買マインドの冷え込み等が今後の懸念要因**
- 国内販売は大きな盛り上がりには欠け、足元想定は25年期初に見込んだ販売台数から大きな変化はなし

造船

- 引き続き堅調な需要環境にあり、国内造船各社は**約3年分を超える受注残を確保**
- 人手不足や労働時間規制等により建造ピッチが上がらない状況は継続
- 日本造船業の競争力強化に向けて**資本提携や協業の動きが活発化**しており、今後の投資、生産効率化などの動向を注視

その他製造業（産機）

- (建機)
- 全世界的な需要低迷の環境や、8月に鉄鋼派生製品関税に建機も追加されるなど、**関税影響による不透明性が継続**しており、今後の需要動向を引き続き注視
- 工作機械輸出に占める北米向け比率、内需の自動車向け比率は共に高く、米国の**自動車関税・相互関税の影響を注視**

建築

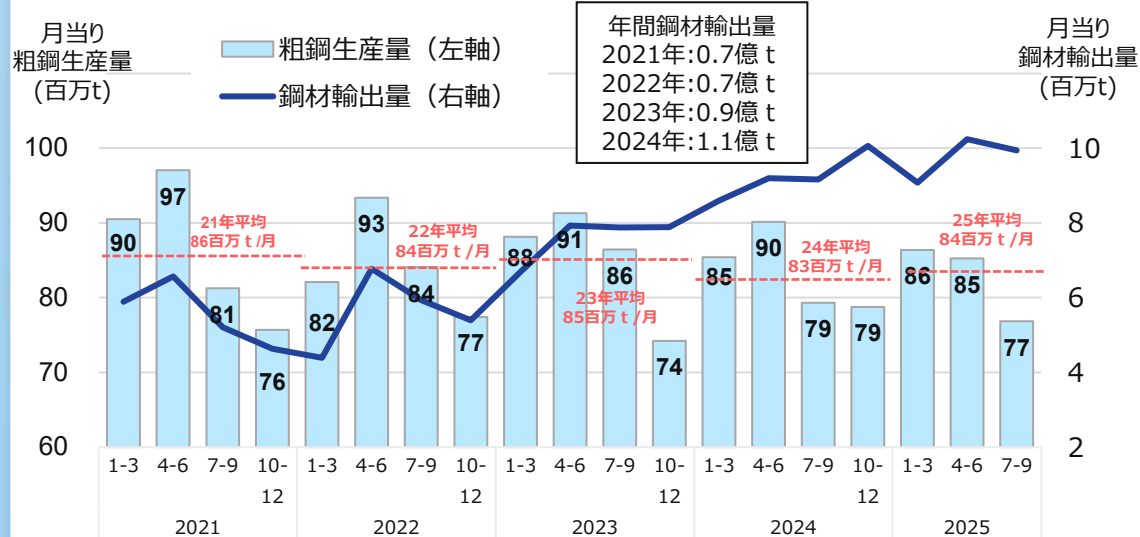
- 人手不足の影響に加え、資材高騰などの建設コストや金利の上昇等を背景とした建設投資・住宅取得マインドへの影響は根深く、**総じて需要は低調**

土木

- 各種コストの上昇や人手不足等の影響を受け、**実質的な活動水準や鋼材需要は漸減方向**と想定

- **世界的な需要低迷と供給過剰が継続**、需要の回復が見通せない状況
- 中国の内需低迷・高位生産・輸出増もあり、アジア圏を中心に**厳しい需給環境が継続**

中国 粗鋼生産・鋼材輸出量



実質GDP成長率見通し

	2024年暦年	2025年暦年 (今回)	2025年暦年 (前回)
米国	2.8%	2.0%	1.9%
中国	5.0%	4.8%	4.8%
インド	6.5%	6.6%	6.4%
ASEAN-5*	4.6%	4.2%	4.1%
世界平均	3.3%	3.2%	3.0%

出典：IMF World Economic Outlook Update 25/7公表(前回)・25/10公表(今回)

*ASEAN5：タイ・マレーシア・インドネシア・フィリピン・シンガポール

分野別動向

薄板

- 中国内需低迷、高位生産、輸出増の構造に変化はなく、ASEAN・南アジア地域での能力増強の動きもあり、**アジア圏の市況は低迷**。
- 232条関税・AD・SG措置では日本も措置対象になっており、販売の上方弾力性に欠ける他、各国の関税政策により、安値の中国材の第3国への還流増、並びに**市況下落を引き起こしており**、厳しい環境が続く。

自動車

- 米国の一連の関税措置により、サプライチェーンに大きな混乱が生じており、先行きは不透明。
- 高金利・ローン審査厳格化影響が長期化している**ASEAN地域について**は回復が遅れており、低調な国内販売が継続。

造船

- 中韓造船会社も、新造受注を伸ばし、引き続き**安定した契約残を確保**
- 中国船舶入港手数料徴収案の動きなど米政策による先行不透明感から、対中国新造発注は一部で様子見傾向。

エネルギー

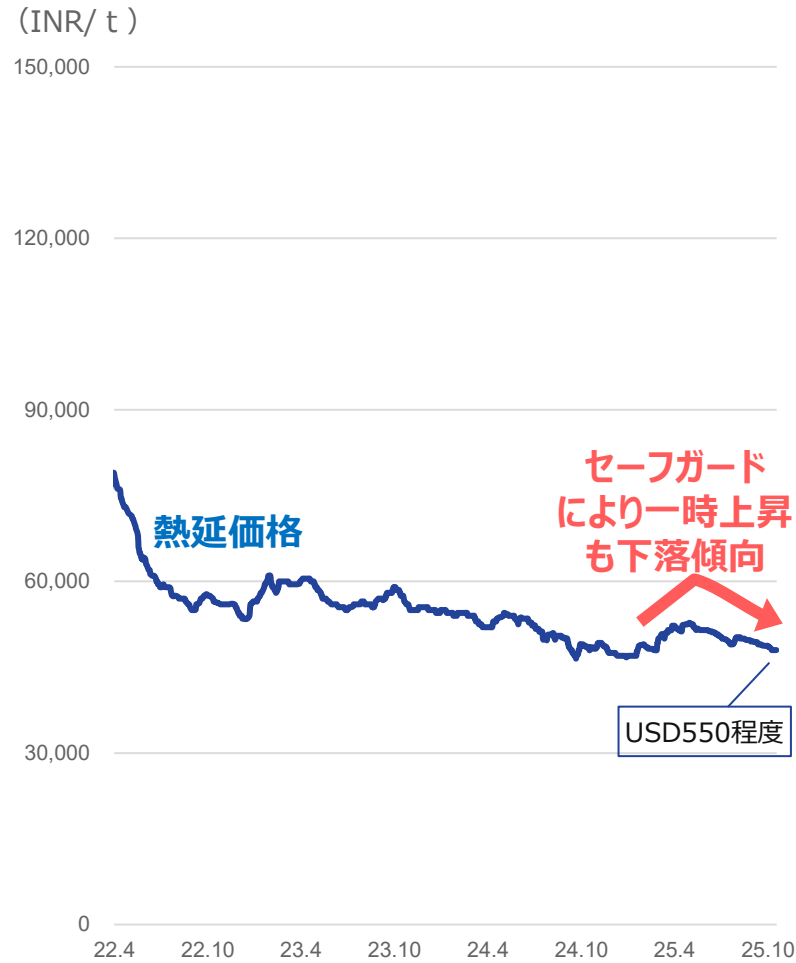
- 世界経済の緩やかな成長や地政学的緊張状態の高まりを背景に、**エネルギー安定供給ニーズは引き続き強く、中期的に堅調な需要**が見込まれる。
- OPECの減産緩和や米国の関税措置に伴うリセッションリスクが意識され、開発先送りや汎用品を中心とした在庫圧縮の動きが出る可能性もあるため、引き続き動向を注視。

中国鋼材市況



※熱延価格：中国5都市平均価格

インド鋼材市況



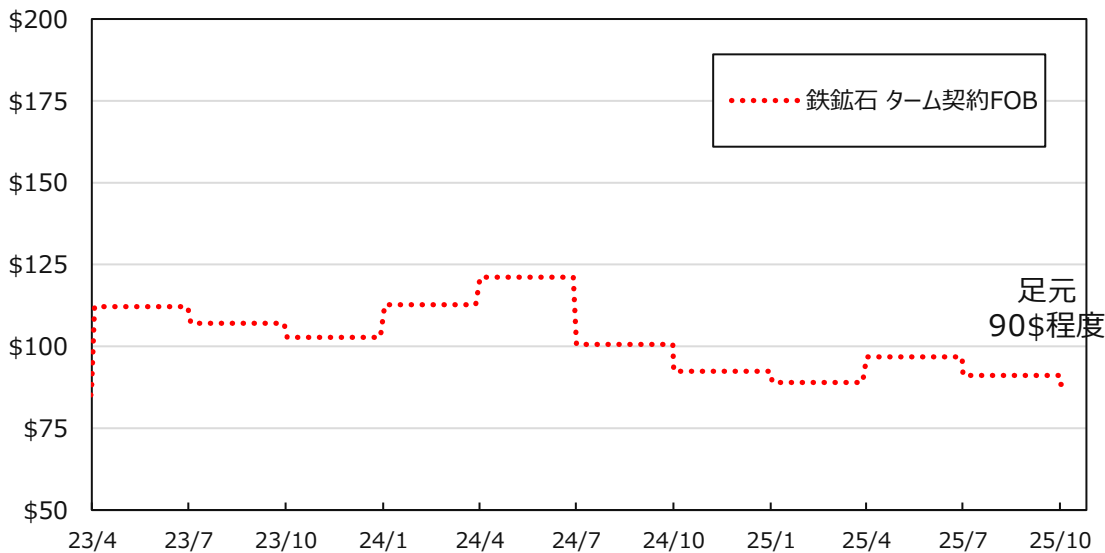
米国鋼材市況





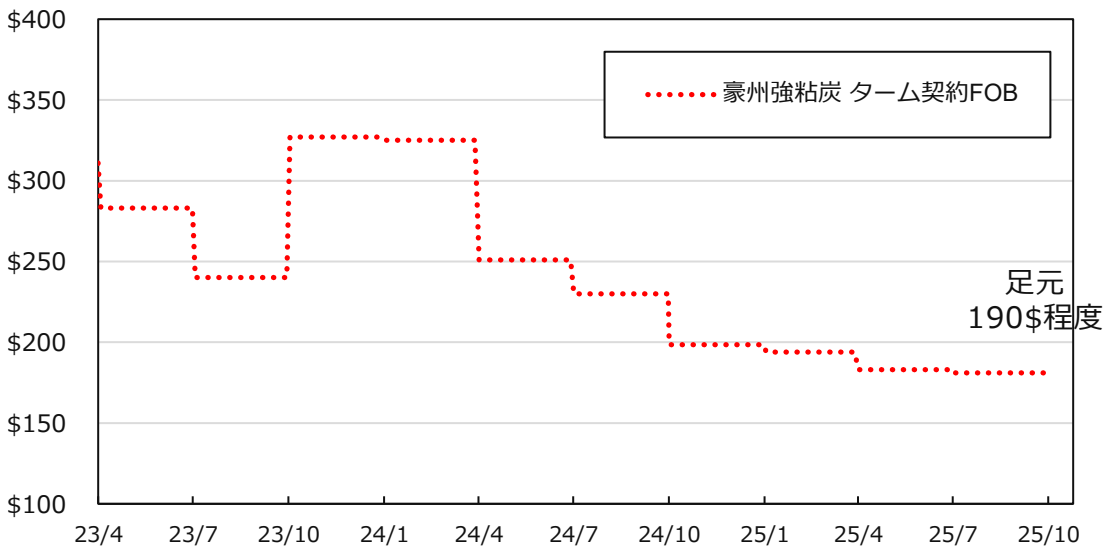
- 鉄鉱石、原料炭ともに需給環境に大きな変化はなく、**足元の価格レベルが継続するものと想定**

鉄鉱石（豪州粉鉱） (\$/DMT)



ターム契約FOB (\$/DMT)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2023年度	112	107	103	113
2024年度	121	101	92	89
2025年度	97	91	88	-

原料炭（豪州強粘炭） (\$/WMT)

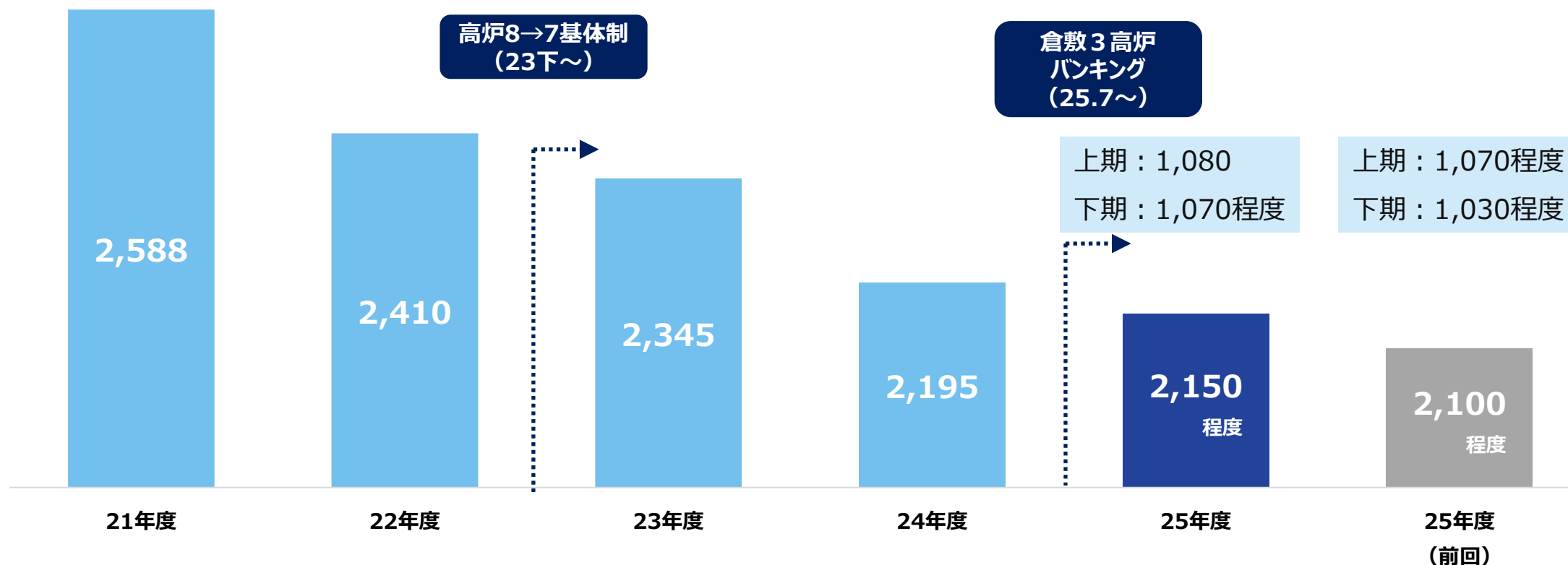


ターム契約FOB (\$/WMT)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2023年度	283	240	327	325
2024年度	251	230	198	194
2025年度	183	181	-	-

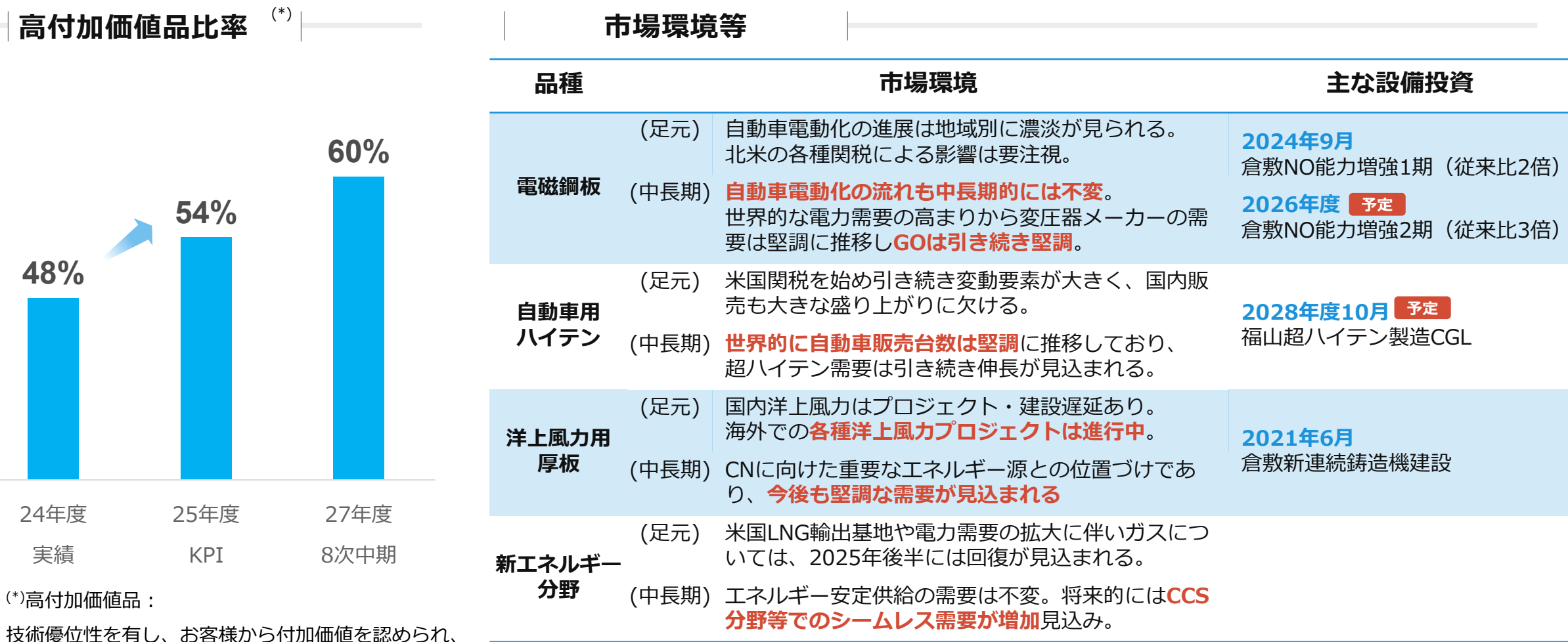
- 米国関税や、その他各国の通商措置による影響として、対前年比▲100万トン程度の数量減を織り込んでいたが、足元の販売状況等を勘案した結果、**対前回公表比+50万トンとなる2,150万トン程度**を見込む

単独粗鋼生産量 [年度]

単位：万t



- 当社の技術力を活かした高性能電磁鋼板や自動車用ハイテン、洋上風力用厚板、新エネルギー対応厚板/シームレスパイプ等の製品拡販（輸出汎用品から置換）により、製品トン当たり利益向上を図る
- 足元の市場環境は盛り上がり欠ける分野はあるものの、**中長期的には堅調な需要を見込む**



(*)高付加価値品：
技術優位性を有し、お客様から付加価値を認められ、汎用品を上回る収益力を持つ商品（当社定義）

	単位	2024年度							2025年度					2025年度 前回見通し (年間)
								年間				年間		
		4-6月	7-9月	上期	10-12月	1-3月	下期		4-6月	7-9月	上期		下期	
売上収益	億円	8,606	8,687	17,293	8,289	8,069	16,358	33,651	7,612	7,762	15,374	15,426	30,800	30,700
セグメント利益	億円	315	30	345	104	▲86	18	363	▲121	68	▲53	453	400	400
棚卸資産評価 差等除き*	億円	365	510	875	444	54	498	1,373	169	258	427	473	900	1,000

単独粗鋼生産量	万 t	548	555	1,103	553	539	1,091	2,195	528	552	1,080	1,070程度	2,150程度	2,100程度
連結粗鋼生産量	万 t	580	589	1,169	583	567	1,150	2,320	561	581	1,142			
単独鋼材出荷量	万 t	470	496	966	487	484	971	1,936	471	482	953			
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	40.6	44.2	42.4	40.0	41.9	40.9	41.7	39.9	42.8	41.3			
鋼材平均価格	千円/ t	139.2	131.5	135.2	127.0	124.0	125.5	130.3	120.4	119.2	119.8			
為替レート	円/ドル	155.0	152.8	153.9	149.0	154.1	151.6	152.7	145.3	147.0	146.2	150程度	148程度	145程度
期末為替レート	円/ドル	161.1	142.7	142.7	158.2	149.5	149.5	149.5	144.8	148.9	148.9	150程度	150程度	145程度

* セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリーオーバー、為替換算差等を除いた損益

2025年度 前回→今回 セグメント利益 増減内訳



	単位	2025年度 前回	2025年度 今回
単独 粗鋼生産量	万t	2,100程度	2,150程度
単独 出荷量	万t	-	-
鋼材 平均価格	千円/t	-	-
為替レート	円/ドル	145程度	148程度

	(億円)	2025年度 前回見通し	2025年度 今回見通し	増減
セグメント利益		400	400	±0
* 棚卸資産評価差等除き		1,000	900	▲100

内訳

①コスト	+30	
②数量・構成	+60	・ 粗鋼 2,100万t程度→2,150万t程度 ・ 国内・輸出構成差（マイナス影響）
③スプレッド*	▲100	・ 国内外の鋼材市況悪化 ・ 原料物価変動の販価反映時期差（マイナス影響） ・ 円安による輸出採算改善
④棚卸資産評価差等	+100	・ 棚卸資産評価差 +30 (▲500→▲470) ・ キャリーオーバー影響 +40 (▲ 50→▲ 10) ・ 為替換算差 +30 (▲ 50→▲ 20)
⑤その他	▲90	・ Gr会社 ▲100（インド、北米 他） ・ その他 + 10

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド



	単位	2024年度実績	2025年度見通し
単独粗鋼生産量	万t	2,195	2,150程度
単独出荷量	万t	1,936	-
鋼材平均価格	千円/t	130.3	-
為替レート	円/ドル	152.7	148程度

	(億円)	2024年度実績	2025年度見通し	増減
セグメント利益		363	400	+37
* 棚卸資産評価差等除き		1,373	900	▲473

内訳

①コスト	+270	・ 操業改善他
②数量・構成	▲90	・ 粗鋼 2,195万t→2,150万t程度 ・ 高付加価値品拡大（電磁・風力向け厚板等）
③スプレッド*	▲530	・ 国内外の鋼材市況悪化 ・ 円高による輸出採算悪化 ・ 原料物価変動の販価反映時期差（マイナス影響）
④棚卸資産評価差等	+510	・ 棚卸資産評価差 ▲140 (▲330→▲470) ・ キャリーオーバー影響 +650 (▲660→▲ 10) ・ 為替換算差 ± 0 (▲ 20→▲ 20)
⑤その他	▲123	・ Gr会社 +190 ・ その他 ▲313（償却費、金利、工事時期差 等）

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド



	単位	2025年度 上期実績	2025年度 下期見通し
単独 粗鋼生産量	万t	1,080	1,070程度
単独 出荷量	万t	953	-
鋼材 平均価格	千円/t	119.8	-
為替レート	円/ドル	146.2	150程度

	(億円)	2025年度 上期実績	2025年度 下期見通し	増減
セグメント利益		▲53	453	+506
* 棚卸資産評価差等除き		427	473	+46

内訳

①コスト	+100	・ 操業改善他
②数量・構成	+20	・ 粗鋼 1,080万t→1,070万t程度 ・ 高付加価値品拡大（電磁・風力向け厚板等）
③スプレッド*	▲100	・ 国内外の鋼材市況悪化 ・ 原料物価変動の販価反映時期差（マイナス影響） ・ 円安による輸出採算改善
④棚卸資産評価差等	+460	・ 棚卸資産評価差 + 370 (▲420→▲50) ・ キャリーオーバー影響 + 50 (▲30→+20) ・ 為替換算差 + 40 (▲30→+10)
⑤その他	+26	・ Gr会社 ▲10 ・ その他 +36

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

JFEエンジニアリング 2025年度 業績見通し

■ 足元の事業環境/損益概況

- 年間セグメント利益は、**200億円**を見込む（**前回公表通り**）
- Waste to Resource分野、カーボンニュートラル分野（洋上風力、LNG等）で前年度からの受注拡大を見込む
- 洋上風力モノパイル事業は多数の引き合いをいただいております、笠岡モノパイル製作所（国内唯一のモノパイル生産拠点）は、25年度中に本格製造を開始し、26年度のフル生産を目指す

■ 業績見通し

(億円)	24年度実績		25年度見通し		増減 (対前年度)		25年度見通し (前回)	
	上期	年間	上期 (実績)	年間	上期	年間	上期	年間
受注高	2,460	5,795	3,630	7,000	1,170	1,205	3,200	7,000
売上収益	2,695	5,698	2,870	6,000	175	302	2,750	6,000
セグメント利益	89	193	126	200	37	7	90	200

JFE商事 2025年度 業績見通し

■ 足元の事業環境/損益概況

- 国内の建設需要の低迷継続や通商施策の影響による輸出取引減に加え、国内外の市況下落により、年間セグメント利益は、**450億円**を見込む（**対前回公表▲50億円**）

■ 業績見通し

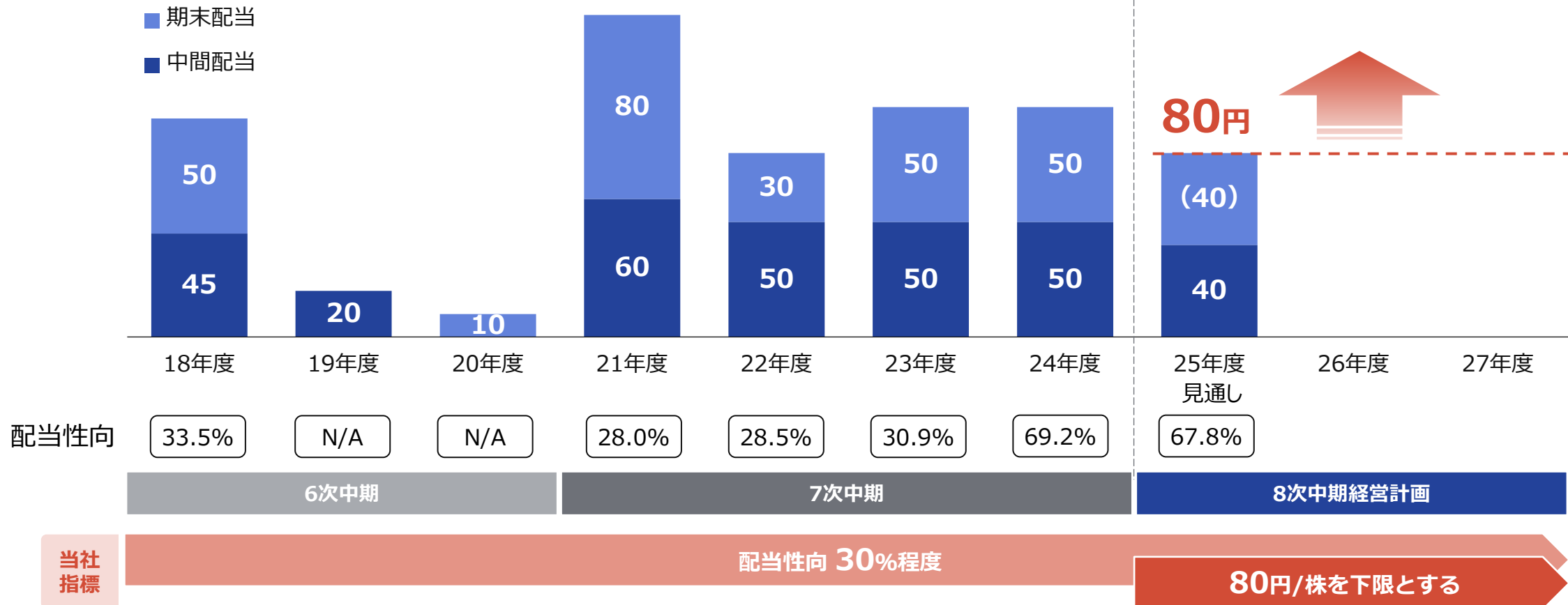
(億円)	24年度実績		25年度見通し		増減 (対前年度)		25年度見通し (前回)	
	上期	年間	上期 (実績)	年間	上期	年間	上期	年間
売上収益	7,155	14,385	6,475	13,500	▲680	▲885	7,500	15,000
セグメント利益	224	479	219	450	▲5	▲29	250	500

配当について

- 中間配当については、1株当たり40円を支払うことを、本日開催の取締役会において決議済
- 年間配当については、**1株当たり80円の見通し（8次中期経営計画方針(*)通り）**

(*) 配当性向30%程度、但し、年間80円/株を下限とする

1株当たり配当金（円/株）



トピックス

- 当社グループの取り組みをステークホルダーの皆様により深く理解していただくため、2025年度JFE GROUP REPORT（統合報告書）、JFEグループサステナビリティ報告書を発行

英語版は11月中発行予定

JFE GROUP REPORT（統合報告書）

成長戦略の観点から中長期的な価値創造ストーリーを紹介

今年度発行にあたっての重点ポイント

✓ 長期ビジョン、8次中期経営計画の詳細

CEOメッセージ、具体的取り組みと実現へのロードマップを開示

✓ 当社の競争優位性を生む技術の図解解説

カーボンリサイクル高炉、革新電気炉、DX活用

✓ 社外取締役による座談会

テーマ：長期ビジョン・8次中期経営計画策定プロセスの評価 他



統合報告書
JFE GROUP
REPORT
2025



▽ダウンロードはこちら

<https://www.jfe-holdings.co.jp/common/pdf/investor/library/group-report/2025/all.pdf>

JFEグループサステナビリティ報告書

「環境」「社会」「ガバナンス」各側面の取り組み・データを網羅的に紹介

今年度発行にあたっての重点ポイント

✓ 気候変動問題に対する力強いコミットメント

TCFD財務影響の見直し、ロビー活動実績と成果の開示

✓ 循環経済、生物多様性に関する記載の充実

個社毎の取り組み、バリューチェーンとの連携、TNFDに沿った開示

✓ 人財戦略、人権に関する取り組みの詳細

経営戦略（長期ビジョン）との連関、各社毎の取り組みの詳細開示



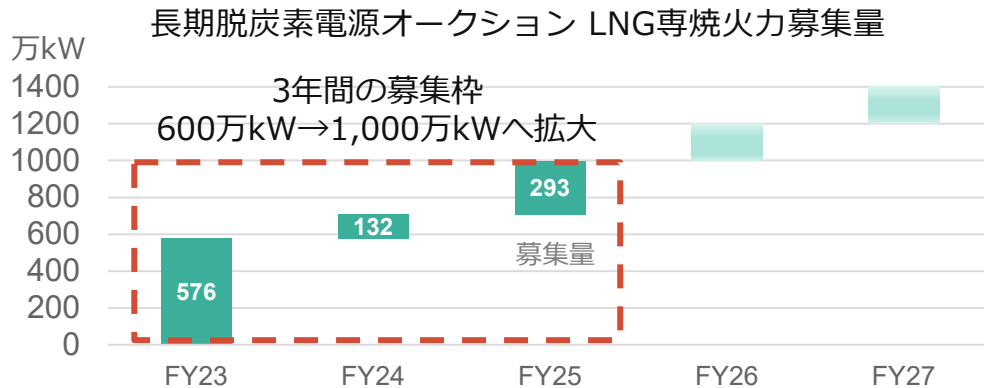
JFE GROUP
SUSTAINABILITY
REPORT 2025
JFEグループ サステナビリティ報告書

▽ダウンロードはこちら

https://www.jfe-holdings.co.jp/common/pdf/sustainability/data/2025/sustainability_2025_j_A3.pdf

- 2025年10月に大阪ガス(株)より姫路天然ガス発電所向け燃料供給設備一式工事を受注（10/2プレスリリース）
- LNG関連分野での**受注 1,200億円**（25-27年度累計）を目指す（対7次中期（21-24年度）+500億円）

トランジションエネルギーとしてLNG回帰の動き



- データセンターや半導体工場の増加、再エネ(太陽光・風力 等)大量導入に伴う調整力として電源需要増
 - 電力需要増により国の長期脱炭素電源オークションにおいてLNG専焼火力の募集量が拡大
 - 2026年度オークション以降も募集継続に向けて議論中
- LNG関連の基地増設、パイプライン、発電設備の出件ラッシュ

JFEエンジニアリングの強み

- 大型案件に対し設計から調達、建設、試運転まで一貫して担えるプロジェクト遂行力
- LNG関連設備の多数の施工実績
- CO₂分離回収や化学プラントなど幅広い分野での実績
- 当社施工のLNG基地の増設案件も出件が見込まれる

今回受注



大阪ガス(株) 姫路製造所



当社施工実績

LNG分野の豊富な実績で培ったプロジェクト遂行力を水素・アンモニアなど新エネルギーやCCS分野にも拡大し、カーボンニュートラル社会へ貢献していく

参考資料①

財務関連データ・損益分析 他

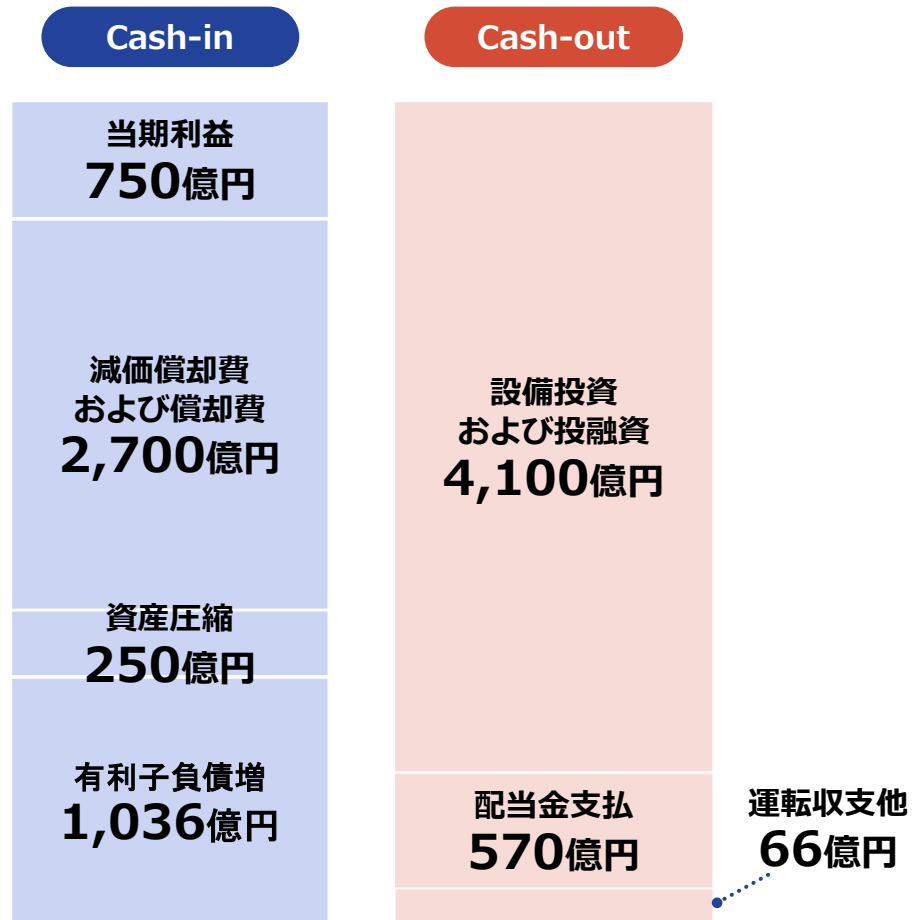
			第8次中期 経営計画 2027年度	25年度 見通し	26年度	27年度
グループ 全体	連結事業利益		4,000億円	1,900億円 (*)	-	-
	ROE		少なくとも 10%	3.0%	-	-
	Debt/EBITDA		3 倍程度	4.6倍	-	-
	D/E		60%程度	58.1%	-	-
事業会社	鉄鋼事業	セグメント利益	2,600億円	900億円 (*)	-	-
	エンジニアリング 事業	セグメント利益	420億円	200億円	-	-
	商社事業	セグメント利益	600億円	450億円	-	-
株主還元	配当方針		配当性向30%程度 但し80円/株を下限 とする	80円/株	-	-

(*) 鉄鋼 棚卸資産評価差除き

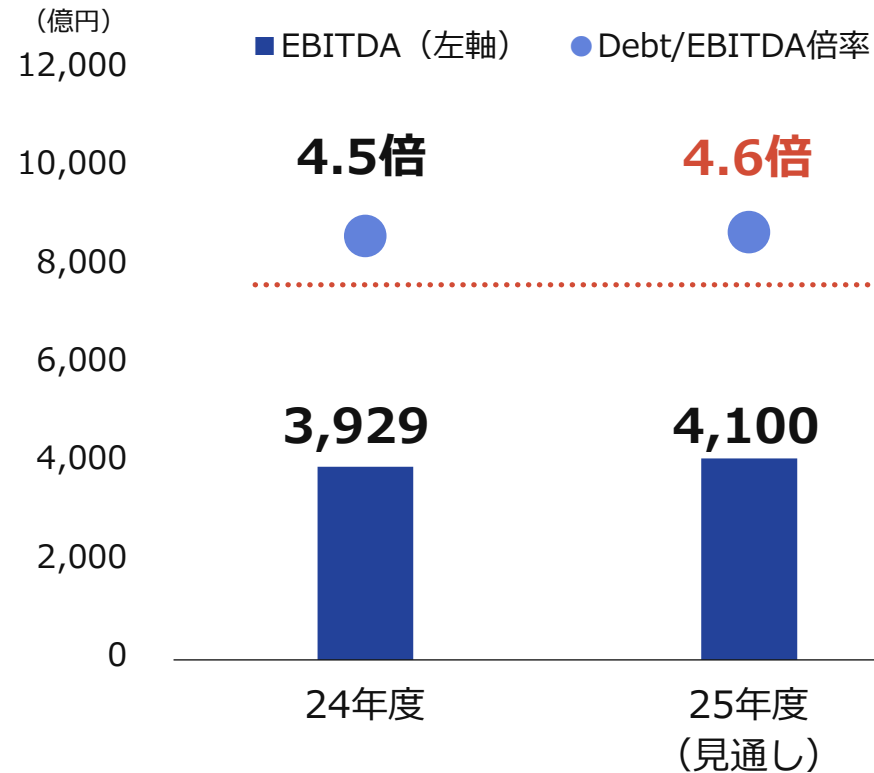
連結キャッシュフロー、Debt/EBITDA倍率

- 2025年度のDebt/EBITDA倍率は、4.6倍となる見通し

連結キャッシュフロー（2025年度見通し）



Debt/EBITDA倍率の推移



財務目標 (27年度)

- Debt/EBITDA
3倍程度
- D/Eレシオ
60%程度

有利子 負債残高	17,664億円	18,700億円
D/Eレシオ	54.3%	58.1%

※ EBITDA = 事業利益 + 減価償却費及び償却費

※ Debt/EBITDA倍率 = 有利子負債残高/EBITDA

主な財務関連データ

【日本基準】

年度	'16	'17	'18
【主要財務指標】(億円、%、倍)			
経常利益	847	2,163	2,211
EBITDA ※1	2,799	3,888	4,059
ROS ※2	2.6%	5.9%	5.6%
ROE ※3	3.7%	7.6%	8.3%
ROA ※4	2.3%	5.2%	5.1%
借入金・社債等残高（期末）	13,754	13,309	14,499
Debt/EBITDA倍率 ※5	4.9倍	3.4倍	3.6倍
D/Eレシオ ※6	51.4%	58.1%	62.0%
【1株当たり情報】(円/株、%)			
親会社株主に帰属する当期純利益	118	251	285
配当金	30	80	95
配当性向	25.5%	31.9%	33.3%

【日本基準】

- ※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費
- ※2 ROS: 経常利益/売上高
- ※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本
- ※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産
- ※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA
- ※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

【IFRS】

年度	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
【主要財務指標】(億円、%、倍)							
事業利益	2,320	378	▲129	4,164	2,358	2,982	1,353
EBITDA ※1	4,282	2,694	2,234	6,687	5,054	5,723	3,929
ROS ※2	6.0%	1.0%	▲0.4%	9.5%	4.5%	5.8%	2.8%
ROE ※3	8.6%	▲11.1%	▲1.3%	15.7%	7.9%	8.6%	3.7%
ROA ※4	5.0%	0.8%	▲0.3%	8.4%	4.4%	5.3%	2.4%
有利子負債残高（期末）	15,238	18,143	18,061	18,494	18,629	18,302	17,664
Debt/EBITDA倍率 ※5	3.6倍	6.7倍	8.1倍	2.8倍	3.7倍	3.2倍	4.5倍
D/Eレシオ ※6	68.2%	96.4%	93.2%	80.8%	67.8%	58.0%	54.3%
【1株当たり情報】(円/株、%)							
親会社の所有者に帰属する当期利益	284	▲343	▲38	500	281	323	144
配当金	95	20	10	140	80	100	100
配当性向	33.5%	—	—	28.0%	28.5%	30.9%	69.2%

【IFRS】

- ※1 EBITDA: 事業利益+減価償却費及び償却費
 - ※2 ROS: 事業利益/売上収益
 - ※3 ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する持分
 - ※4 ROA: 事業利益/資産合計
 - ※5 Debt/EBITDA倍率: 有利子負債残高/EBITDA
 - ※6 D/Eレシオ: 有利子負債残高/親会社の所有者に帰属する持分
- 但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

	単位	2023年度					2024年度					2025年度				
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
売上収益	億円	9,172	9,486	9,156	9,346	37,160	8,606	8,687	8,289	8,069	33,651	7,612	7,762	—	—	—
セグメント利益	億円	681	547	482	317	2,027	315	30	104	▲86	363	▲121	68	—	—	—
棚卸資産 評価差等除*	億円	591	647	492	277	2,007	365	510	444	54	1,373	169	258	—	—	—

単独 粗鋼生産量	万t	605	611	562	567	2,345	548	555	553	539	2,195	528	552	—	—	—
連結 粗鋼生産量	万t	638	647	595	601	2,480	580	589	583	567	2,320	561	581	—	—	—
単独 鋼材出荷量	万t	523	542	508	504	2,077	470	496	487	484	1,936	471	482	—	—	—
鋼材輸出比率 単独・金額ベース	%	44.2	44.2	41.6	41.3	42.9	40.6	44.2	40.0	41.9	41.7	39.9	42.8	—	—	—
鋼材平均価格	千円/t	128.5	130.1	132.5	135.2	131.5	139.2	131.5	127.0	124.0	130.3	120.4	119.2	—	—	—
為替レート	円/ドル	135.8	144.1	148.7	146.7	143.8	155.0	152.8	149.0	154.1	152.7	145.3	147.0	—	—	—
期末為替レート	円/ドル	145.0	149.6	141.8	151.4	151.4	161.1	142.7	158.2	149.5	149.5	144.8	148.9	—	—	—

* セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリアオーバー、為替換算差等を除いた損益



	単位	2025年度 4-6月	2025年度 7-9月
単独 粗鋼生産量	万t	528	552
単独 出荷量	万t	471	482
鋼材 平均価格	千円/t	120.4	119.2
為替レート	円/ドル	145.3	147.0

	2025年度 4-6月 実績	2025年度 7-9月 実績	増減
(億円) セグメント利益	▲121	68	+189
* 棚卸資産評価差等除き	169	258	+89

内訳

①コスト	+10	
②数量・構成	+60	・ 粗鋼 528万t→552万t
③スプレッド*	±0	
④棚卸資産評価差等	+100	・ 棚卸資産評価差 +40 (▲230→▲190) ・ キャリーオーバー影響 ▲10 (▲ 10→▲ 20) ・ 為替換算差 +70 (▲ 50→+ 20)
⑤その他	+19	・ Gr会社 +50 ・ その他▲31

*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド



	単位	2024年度 下期	2025年度 上期
単独 粗鋼生産量	万t	1,091	1,080
単独 出荷量	万t	971	953
鋼材 平均価格	千円/t	125.5	119.8
為替レート	円/ドル	151.6	146.2

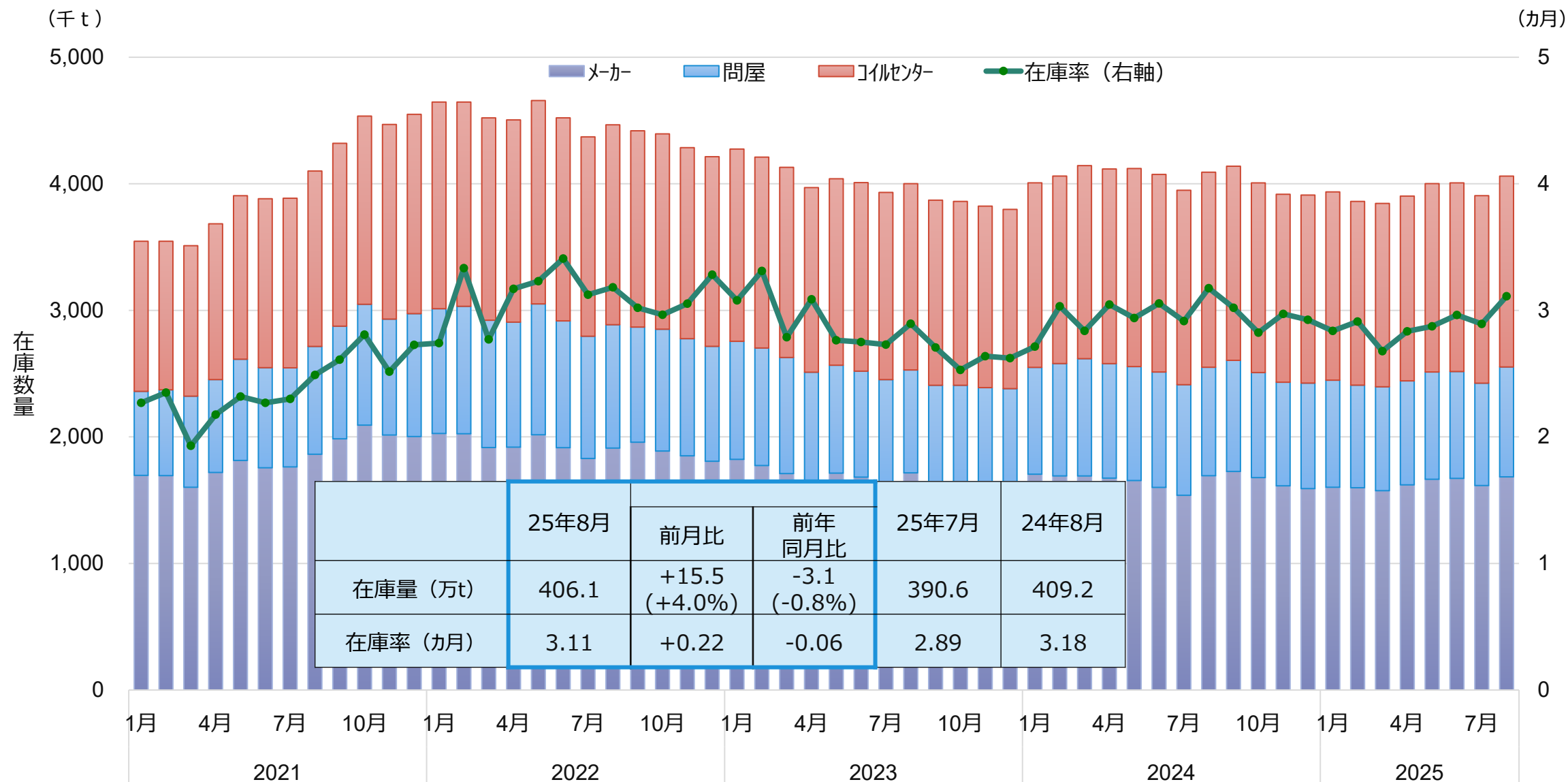
	(億円)	2024年度 下期 実績	2025年度 上期 実績	増減
セグメント利益		18	▲53	▲71
* 棚卸資産評価差等除き		498	427	▲71

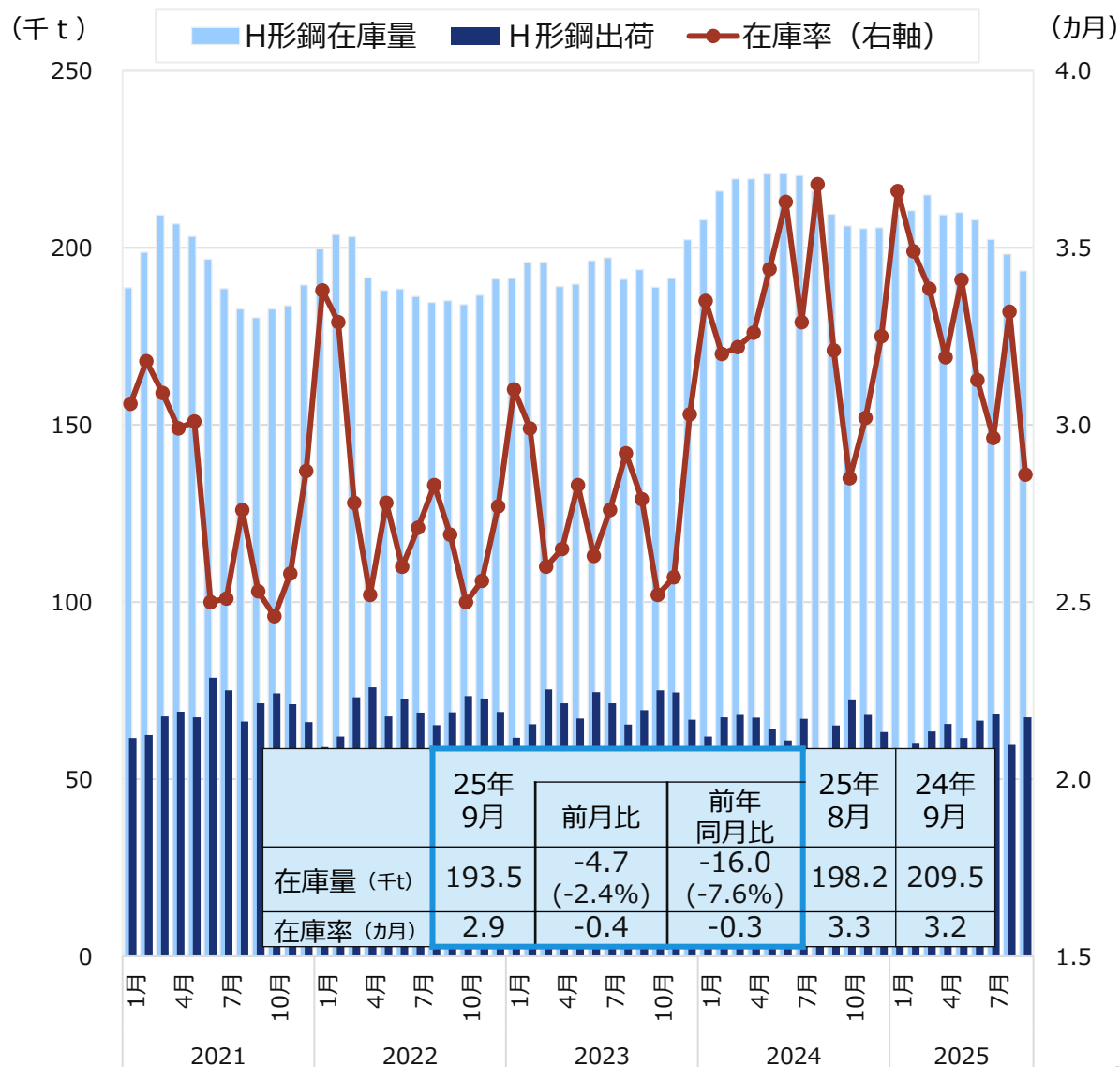
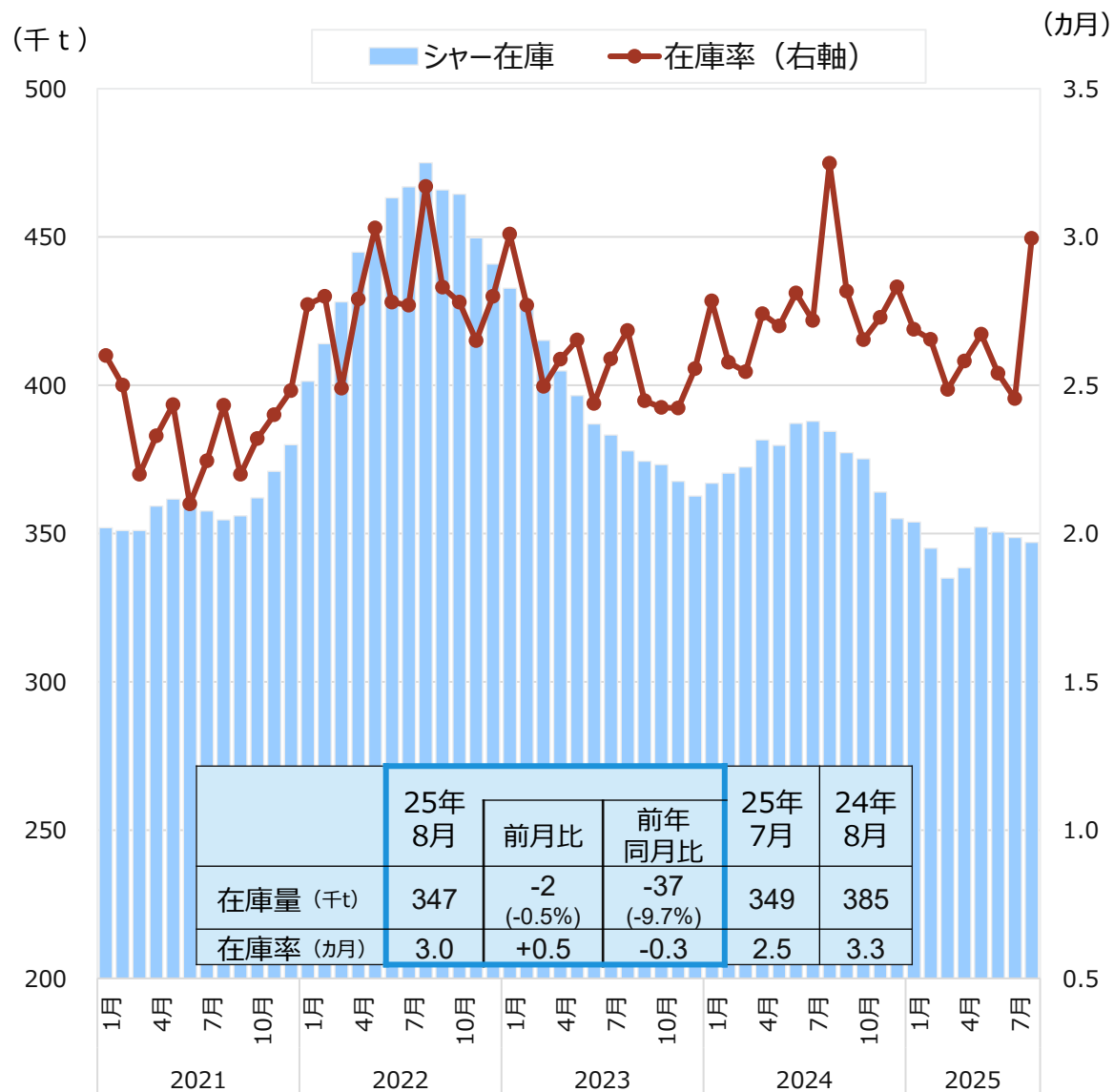
内訳

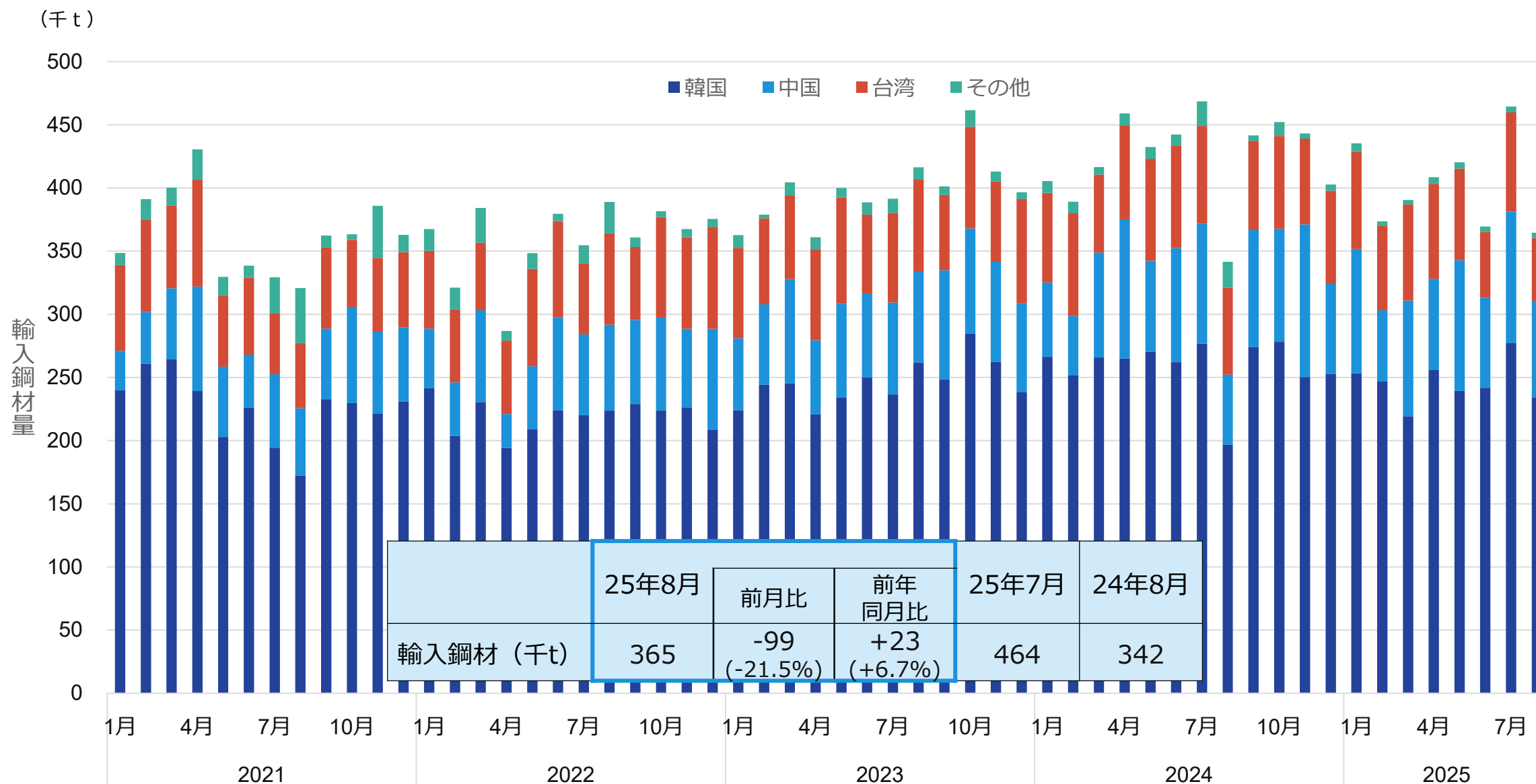
①コスト	+80	・ 操業改善他
②数量・構成	▲50	・ 粗鋼 1,103万t→1,080万t
③スプレッド*	▲150	・ 円高による輸出採算悪化 ・ 原料物価変動の販価反映時期差（マイナス影響）
④棚卸資産評価差等	±0	・ 棚卸資産評価差 ▲120 (▲300→▲420) ・ キャリーオーバー影響 +200 (▲230→▲ 30) ・ 為替換算差 ▲ 80 (+ 50→▲ 30)
⑤その他	+49	・ Gr会社+100 ・ その他▲51

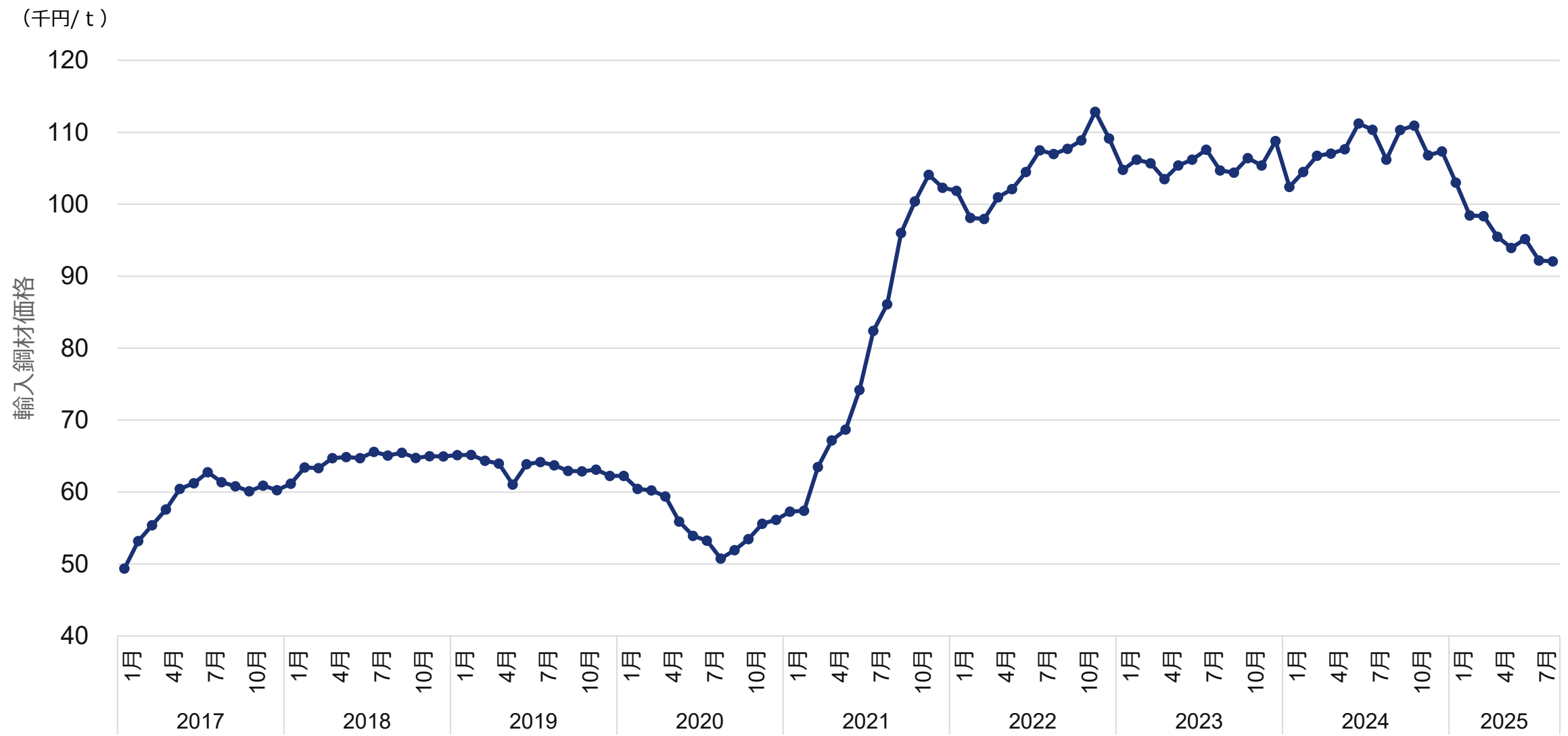
*諸物価（金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等）を含むスプレッド

参考資料② 事業環境指標他

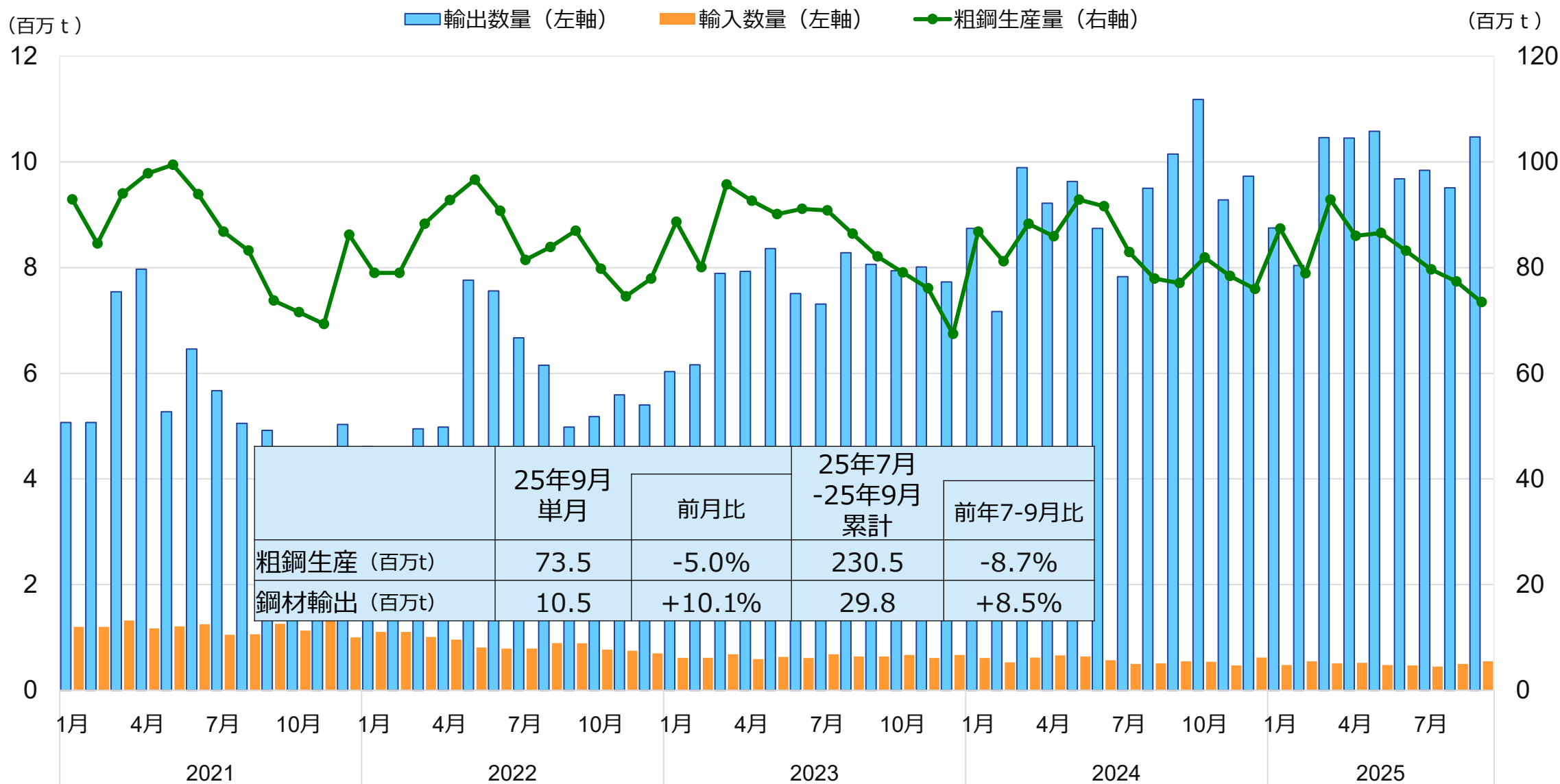


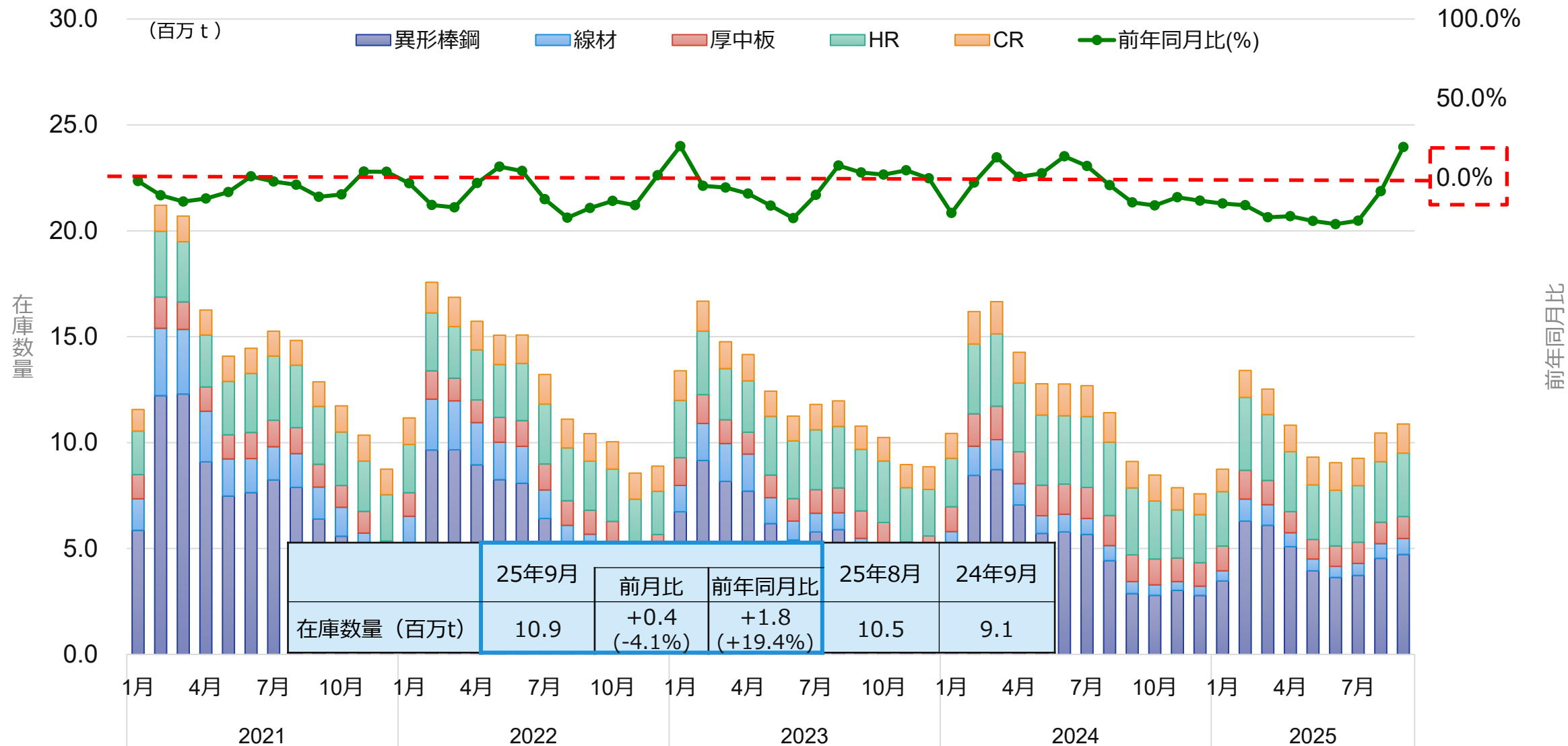


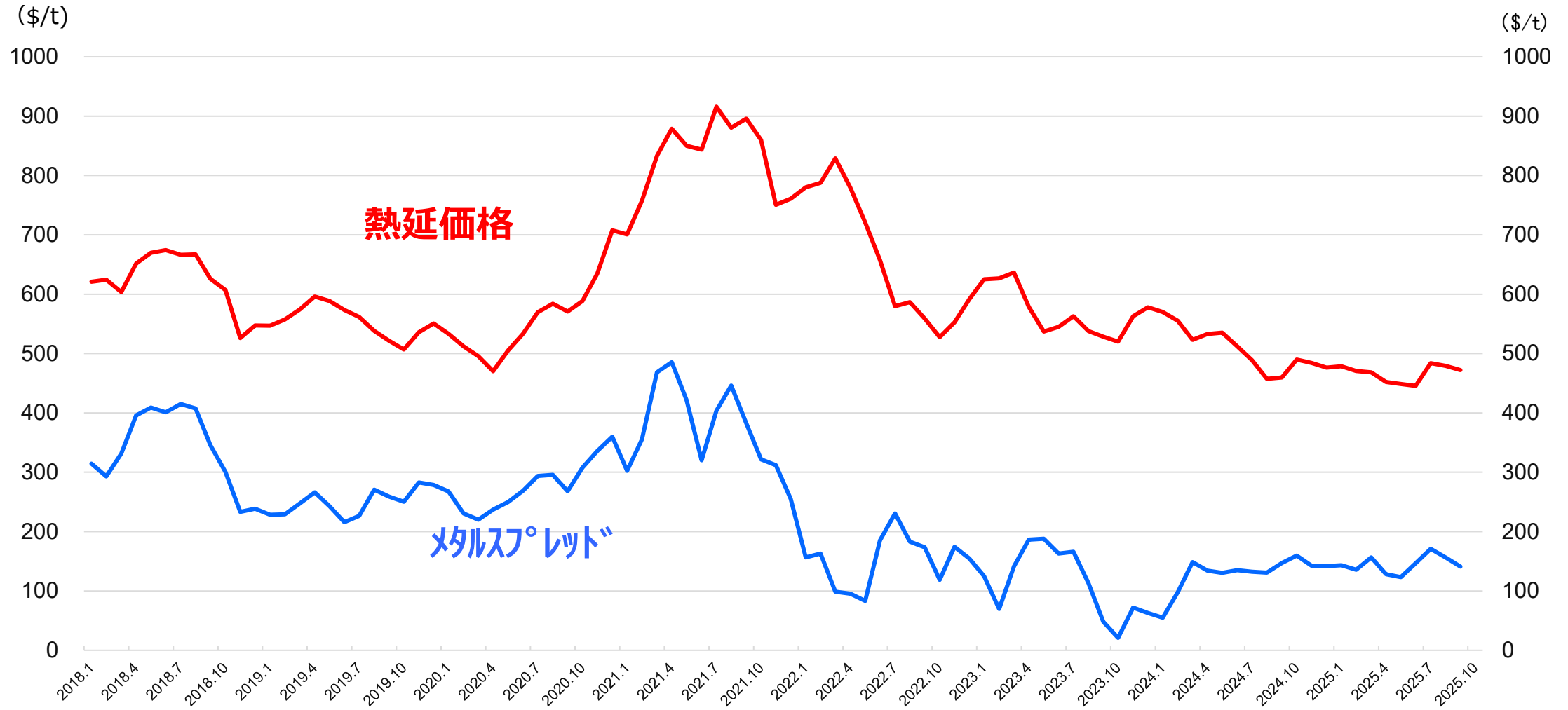




日本鉄鋼連盟データより作成（韓国から輸入の熱延広幅帯鋼）



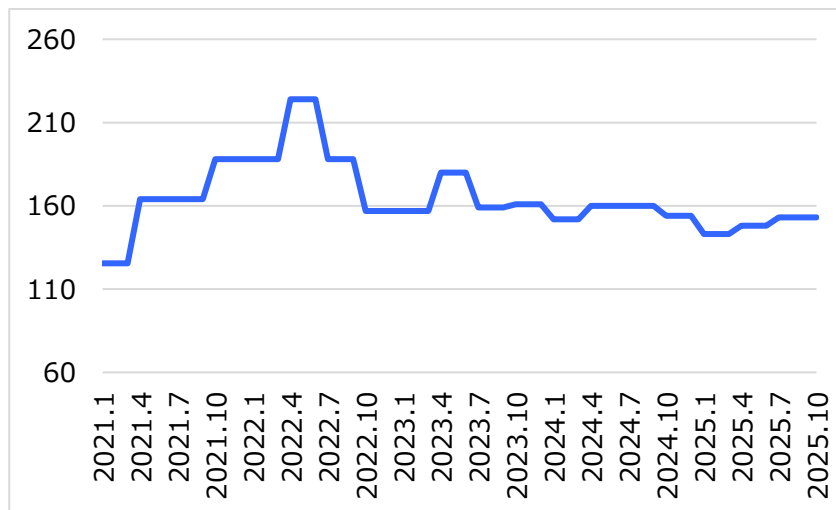




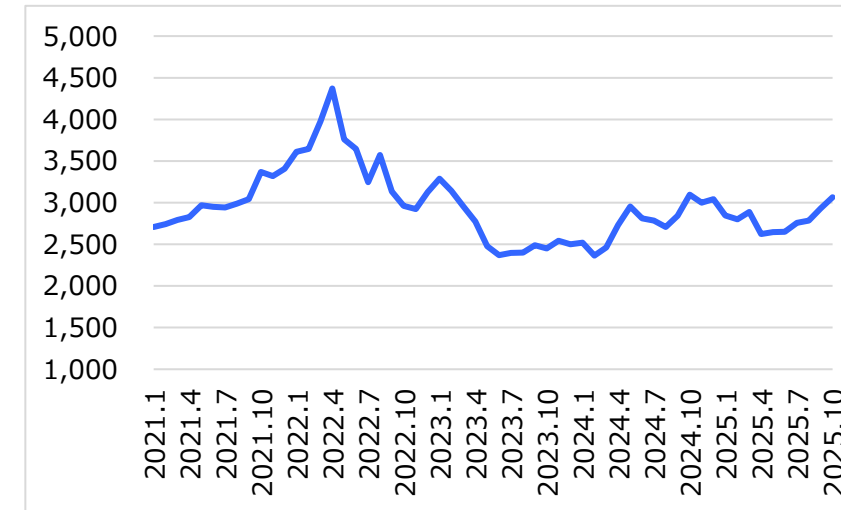
メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格：中国5都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

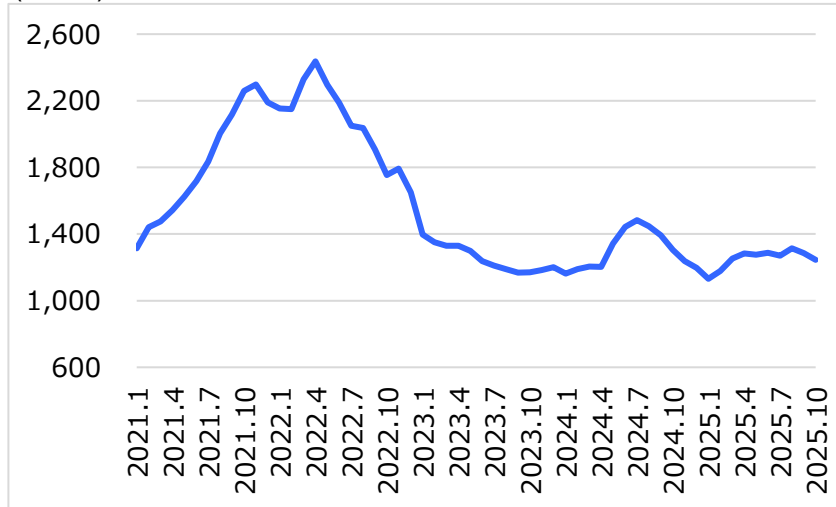
(¢/lb) フェロクロム



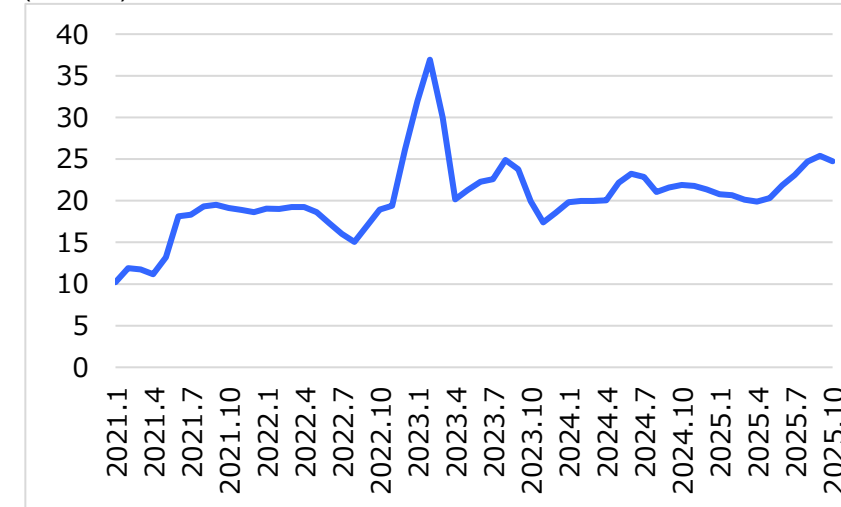
(US\$/t) 亜鉛



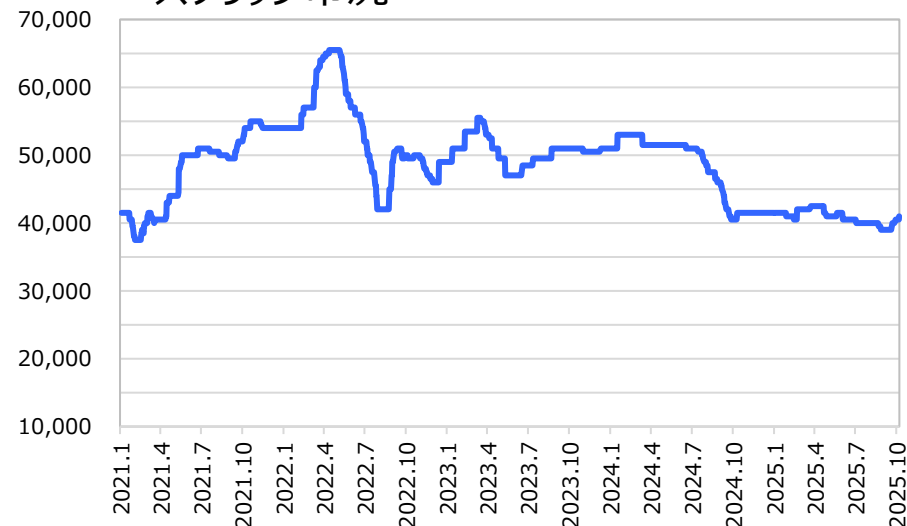
(US\$/t) フェロマンガン



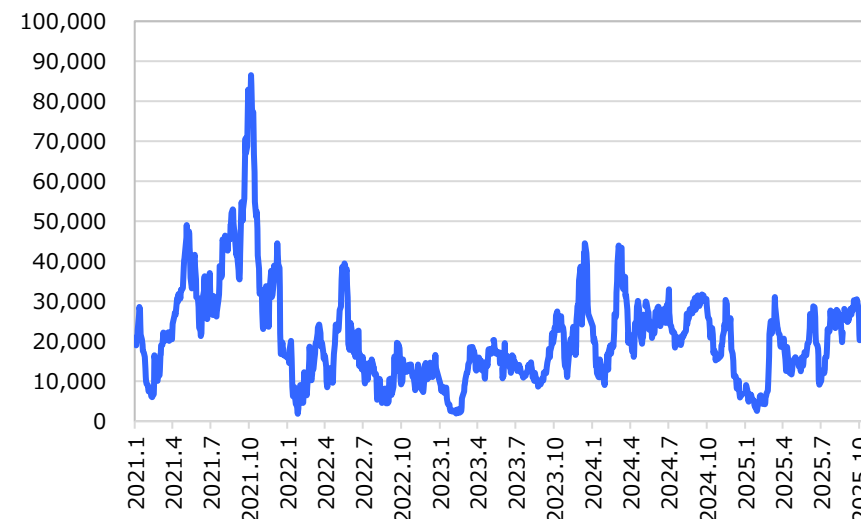
(US\$/lb) モリブデン



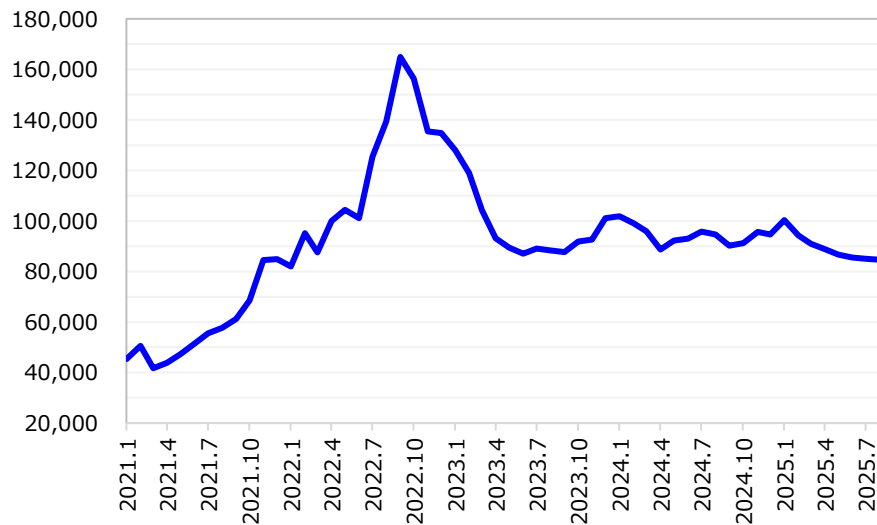
(円/t) スクラップ市況



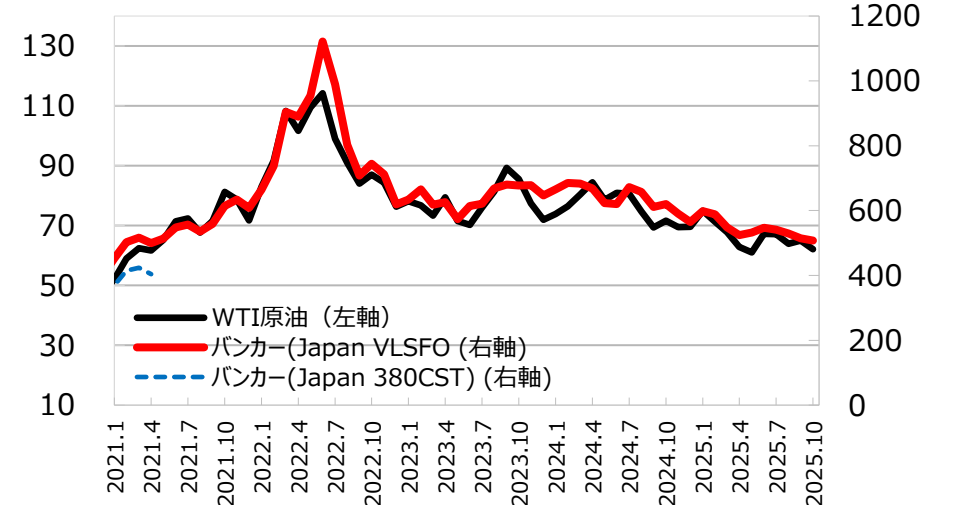
(\$/B) スポット傭船市況



(円/t) LNG市況



(WTI原油: \$/bbl) 原油・バンカー市況

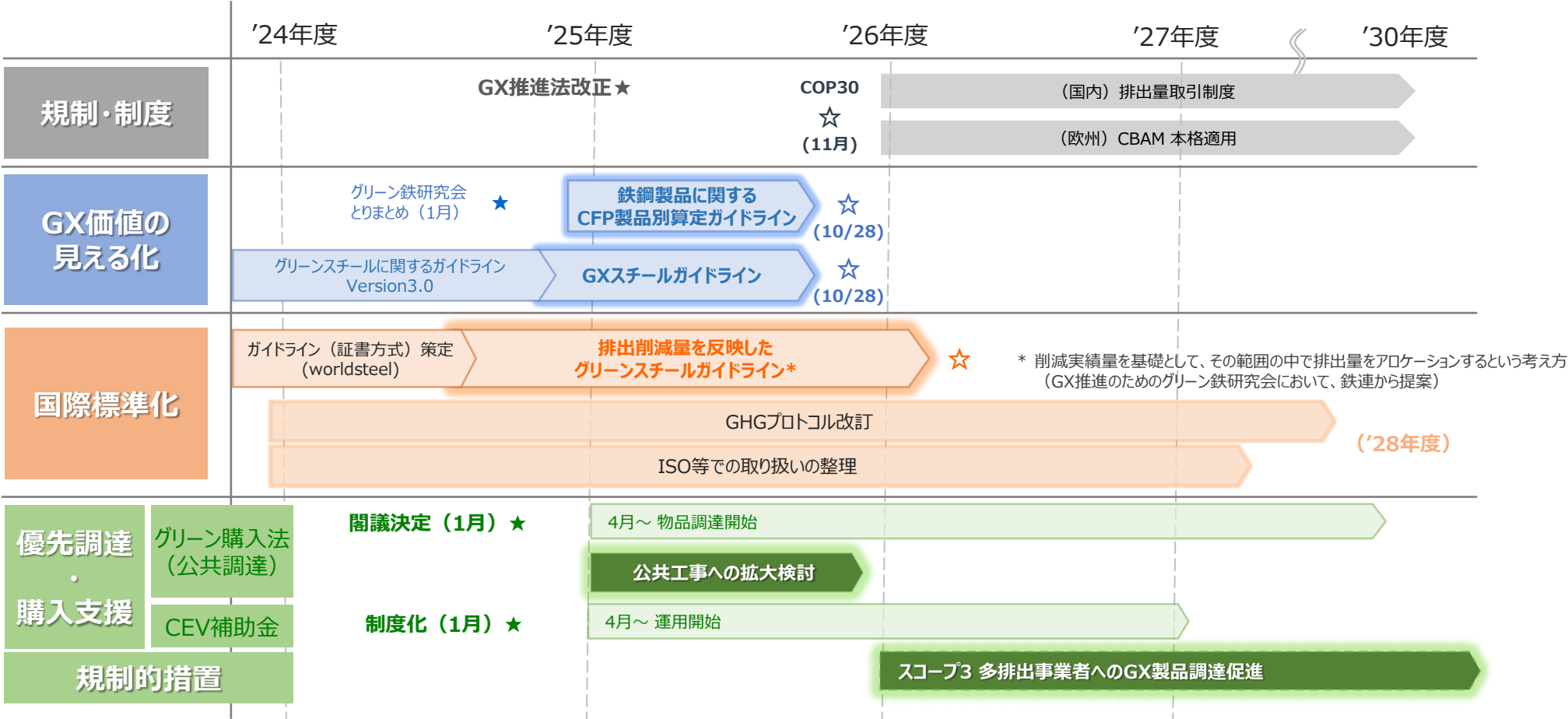


- 製造プロセスにおける**GHG排出量を従来の製品より大幅に削減したGXスチール「JGreeX®」**を23年度上期から供給開始
- GXスチール需要喚起により24年度から**全分野へ「JGreeX®」の採用が拡大**

分野	国内/海外	品種	需要家	用途
自動車	国内	自動車用鋼板	いすゞ自動車 他	自動車
造船	国内	厚板	桧垣造船・尾道造船・今治造船	ドライバルク船
	国内	厚板	常石造船	水素タグボート
	国内	厚板	波方造船所	内航一般貨物船
	国内	厚板	波方造船所	内航一般貨物船
建築	国内	厚板・形鋼・鋼管	熊谷組・住友商事	オフィスビル
	国内	鋼管	ヤシマナダ	建材流通
	国内	形鋼	苫小牧栗林運輸	倉庫
	国内	鋼管	JFE商事鋼管管材	鋼管流通
	国内	線材	日本ファスナー工業	高力ボルト
	国内	★ 形鋼	三和鉄建	工場建屋
	海外	熱延鋼板	SUNSCO	倉庫
橋梁	国内	厚板	横河ブリッジ（岡山市）	橋梁
	国内	厚板	JFEエンジニアリング（横浜市）	橋梁
造船、建築、 海洋構造物	海外	厚板	Hock Seng Hoe	厚板流通
電力	海外	電磁鋼板	欧州変圧器メーカー	変圧器
	海外	電磁鋼板	Eaton Corporation	変圧器
	国内	電磁鋼板	愛知電機	産業用大型変圧器
事務用機器	国内	棒線	鈴豊精鋼	ECOコンテナ
缶	国内	ブリキ	モノファクトリー	缶バッジ
産業機械	国内	冷延鋼板	ヤマハ発動機	表面実装機
	国内	厚板	高砂金属工業	天井クレーン

★: 25年度2Qでの新規案件

- 「GX推進のためのグリーン鉄研究会」の取りまとめにおいて、GX推進のためのグリーン鉄を明確に定義し、**重点的に政府優先調達や購入支援を講じる対象と明示**
- GX推進のためのグリーン鉄研究会の取りまとめを受け、「**鉄鋼製品に関するカーボンフットプリント製品別算定ガイドライン**」、「**GXスチールガイドライン**」、「**非化石電力鋼材のカーボンフットプリント算定ガイドライン**」を策定、**10/28に对外公表**



(億円)

	事業分野	2024年度 実績	2025年度 見通し	増減	2025年度 上期 主な受注内容 ★ … 第2四半期 新規・追加受注案件
受注高	Waste to Resource	2,712	3,000	288	国内廃棄物処理施設 新設工事[★新潟、★大阪、★広島] 国内廃棄物処理施設 基幹改良工事[★沖縄]
	カーボンニュートラル	1,791	2,800	1,009	国内LNG関連設備 建設工事[★千葉、★北海道、☆兵庫(10月受注済)]
	基幹インフラ	1,292	1,200	▲92	国内橋梁新設 (臨港道路[神奈川])
	合計	5,795	7,000	1,205	
受注残高		9,944	10,900	956	

※ 2025年度(8次中期初年度)より、事業分野を4分野から3分野に変更

この変更にあわせてエネルギー関連商品を「基幹インフラ」から「カーボンニュートラル」に組み替え

※ 2024年度実績は、事業分野変更後の数値で記載

参考資料③ 発行資料（リンク集）

	公表日	資料（日本語版）	資料（英語版）
長期ビジョン・8次中期経営計画	2025/5/8	日本語	英語
環境経営戦略説明会	2025/5/29	日本語	英語
海外事業戦略説明会	2025/8/8	日本語	英語
JFEグループレポート 2025（統合報告書）	2025/9/26	日本語	英語
JFEグループ サステナビリティ報告書2025	2025/9/26	日本語	英語
DXレポート2024	2025/2/7	日本語	英語



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。